

ID:	=患者情報!B1		(streptozin単独 【1週毎】) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2						殿	
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	入院/外来	入力日	年	月	日
疾患名					開始日	年	月	日
クール	1日投与6日休薬(1週毎) ※6週間を1クールとする				診療科			
					医師名			
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 進行 <input type="checkbox"/> 再発			告知の有無	P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	
	身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00 m ²
重要	B型肝炎の再活性化(de novo B型肝炎)対策として、右記の検査が未実施の場合は、 全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。						<input type="checkbox"/> HBs抗原 <input type="checkbox"/> HBs抗体 <input type="checkbox"/> HBe抗体	
	基準		13週目以降		19週目以降			
薬品名	単位	薬品名	単位	薬品名	単位	外来加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外	
streptozin 基準 1000	mg/m ²	streptozin 1250	mg/m ²	streptozin 1500	mg/m ²			
当院未採用薬のため、「緊急医薬品使用届」の提出が別途必要です。								
<減量基準>				<増量基準>				
■ 250mg/m ² ずつ減量すること。 ■ 但し、750mg/m ² 未満での投与および減量後の増量は行わないこと。				■ 1回1,000mg/m ² で開始すること。 ■ 12週目までの忍容性が良好な場合には、1,250mg/m ² に増量することができる。				
				さらに18週目までの忍容性が認められる場合には、最大1,500mg/m ² まで増量できる。				
<h2 style="background-color: #e0ffe0;">レジメン内容</h2>								
内服 [P.O] イメンドCap125mg 1 Cap ボトル① [D.I.V] テキサド注(3.3mg) 9.9 mg アロキシ点滴静注バッグ(0.75mg/50mL/袋) 1 袋 ボトル② [D.I.V] ソルデム3A(500mL) 500 mL			ボトル① [D.I.V] ↓ 15分 ボトル② [D.I.V] ↓ 120分 ボトル③ [D.I.V] ↓ 30分 フラッシュ ↓ ボトル④ [D.I.V] ↓ 60分			基準 (1000mg/m²) ボトル③ [D.I.V] streptozin注 [サノサー] [] mg 生食液(100mL) 100 mL 忍容性あり ↓		
フラッシュ 生理食塩水(20mL) 10 mL ボトル④ [D.I.V] フロセミド注(20mg) [] mg ソルデム3A(200mL) 200 mL			ボトル③ [D.I.V] streptozin注 [サノサー] [] mg 生食液(100mL) 100 mL 忍容性あり ↓			13週目以降 (1250mg/m²) ボトル③ [D.I.V] streptozin注 [サノサー] [] mg 生食液(100mL) 100 mL 忍容性あり ↓		
			ボトル③ [D.I.V] streptozin注 [サノサー] [] mg 生食液(100mL) 100 mL			19週目以降 (1500mg/m²) ボトル③ [D.I.V] streptozin注 [サノサー] [] mg 生食液(100mL) 100 mL		
Day 2 & 3 イメンドCap(80mg) 1Cap/回 ※午前中に投与すること Day 2~4 テキサド錠(4mg) 2錠/2x(朝・昼食後) 3日間								
重要な基本的注意・副作用 ●腎障害、 ●肝障害、 ●骨髄抑制、●耐糖能異常 ⇒ 投与開始前および投与中は定期的に検査を実施すること ●錯乱および嗜眠 ⇒ 自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること								
1-① 1-② 1-③ 1-④ 1-⑤ 1-⑥ 2-①Kur目へ Week ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ Day 1 8 15 22 29 36 43 50 57 64 71 78 85 92 streptozin ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓						確認者	監査者	
調製方法 サノサー点滴静注用(1g)1Vに対して生食液9.5mLを加え混和させた後、数分間静置すること。 [溶液1mL中には100mgのstreptozinを含有する] 保存剤が添加されていないため、溶解後は速やかに使用すること。								
注意事項など								